本家ノ此ノ二ツノ階級ニ於テ資本家ハ働カナクモ生ヲ立ツ場ル非資本家ハ元ニ反シテ働イテモ〳〵食ヘナイ者ト思イ第一ノ食ヘ得ル労働者ノ酷使シテ利ヲ得不足ニ陥ルト労働者ニ一切ノ責ヲ負ハセ賦賃ヲ以テ幕府時代ノ切捨田畑ヲ分日資本家ハ会社的賦賃ヲ入ル二義ノ言論ニシテ若干七ヲ何段ニ中止ヲ入ノカ田中及動内閣ヲ倒シテ清口内閣ヲ出現シテ此ニ上ニ弾圧カ止マナイ　中止

4.7.16
621

勞秘第一二四三號

昭和四年七月十二日

警視總監丸山鶴吉

内務大臣安達謙藏殿

社會局長官殿

大阪神奈川各府縣知事殿

島藤製材工場勞働爭議ニ關スル件（第四報）

要旨
(1) 數回ニ亘リ労資折衝シ事業主ハ解雇ヲ取消ス旨ヲ言明シタルモ労働者側ハ容認セズ
(2) 労働者側ハ引續キ行商ヲ為シ且各種ビラヲ撒布シテ気勢ヲ挙ゲツヽアリ

標記工場ノ勞働爭議ニ就テハ屢報ノ通リナルカ其後ノ